



昭和34年4月18日制定

# あさひ

120th Anniversary  
11月号

令和3年10月29日  
横浜市立旭小学校



<公式WEBページ> <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/asahi/> 随時更新しています

## 良さが発揮できる学校

児童支援専任 小倉 秀仁

日に日に寒さが増し、枯れ葉が舞い散る季節となってきました。早いもので、後期が始まり1か月が過ぎようとしています。私は、毎朝校門に立ってあいさつをしているのですが、寒い中でも、元気な声で「おはようございます！」と言われたり、こちらのあいさつに笑顔で応えてくれたりすると、本当に嬉しい気持ちになります。また、登下校時に子どもたちを見守ってくださる保護者の方々、地域の方々、いつも子どもたちの安全な登校にご協力いただき、ありがとうございます。

さて、先日私が廊下を歩いていると、教室の前で座り込んで顔を伏せている児童がいました。私の目には、どうやら何か嫌なことがあって教室に入りたくないように見えました。そこで私が声をかけようとする、同じクラスの子が座り込んでいる児童の近くに来て声をかけ始めました。そのまま様子を見てみると、とてもやさしい表情で、丁寧な言葉遣いで話をしているのが分かりました。私はその様子を見て、きっとこの子は、相手の子にどのように声をかけるのが一番良いのかを、クラスと一緒に過ごす中で分かっているのだと感じました。最後は担任に声をかけてもらい少し落ち着いてから教室に入ったようですが、優しい姿を目の当たりにして心が温まりました。日々の生活に追われていたり不安な事があったりすると、だんだんと余裕がなくなり、周りの様子が見えなくなってしまうものです。きっと声をかけていた児童は、毎日安心して学校に登校し、充実した時間を過ごすことができているのでしょう。それにしても、誰にでもできる行動ではありません。きっとこの子の良さなのだと思います。

私が担当している児童支援専任は、児童一人ひとりが安心して自分らしく楽しい学校生活を送れるよう、児童指導の推進役として連絡や調整を行うものです。まだまだ学んでいかなければならないことも多いですが、みんなが安心して学校生活を過ごし、良さが発揮できる場面を多く作っていきけるように支援していきたいと考えています。新型コロナウイルス感染症が蔓延する中、子どもたちは、今まで誰も経験してこなかった学校生活を過ごしてきました。分散登校があったり、緊急受け入れがあったり、教科によっては学習内容を制限される授業もありました。きっと、「あれはどうなるんだろう?」「この場合はどうするのかな?」と考えを巡らせる場面も多かったのではないのでしょうか。日々環境の変化は、それだけで本人にとっての負担になることがあります。そんな時は、一人で抱え込まず、是非いろいろな人に相談してほしいです。ご家庭でも、何かご不安な事がありましたら、一緒に考えていきたいと思っていますので、どうぞお話を聞かせてください。